

健康づくり 生きがいづくり 友だちづくり まちづくり

# 友の会だより

中野共立友の会・広報委員会発行 Eメール：a\_nozawa@kenyu-kai.or.jp  
〒164-0001 中野区中野5-45-4 Tel:03-3386-9139

## くらしに役立つなんでも相談

健康の悩み、生活・家庭の心配ごと、誰に相談したらいいか、どこに相談したらいいか、なんでも気軽にご相談ください。



友の会コーナーへ

# 平和を手ばなさない

## 核廃絶

# けんぽう 9条は変えさせない

投票法は安部内閣のもと、自民・公明の多数で強行可決され、来年5月18日に施行されます。この法律の施行に先立ち、6月



9条の会・中野事務局 小澤 哲雄

## 力を合わせて国民投票法を機能不全に

憲法改悪のための国民投票法は安部内閣のもと、自民・公明の多数で強行可決され、来年5月18日に施行されます。この法律の施行に先立ち、6月

11日、衆議院で憲法審査会規定がまたもや自民・公明の多数で強行可決されました。

この法律の前身は「最低投票率」の定めがなく、場合によっては有権者総数の20パーセントすら改悪が確定するというひどいものです。

しかし予断は出来ません。9条を守れる国民世論は70%近くになっています。

楽観もせず、かつ悲観もせず世論と運動で、国民投票法を機能不全に追い込もうではありませんか。私たちの運動はそのことを可能にしています。

一方野党が過半数の参議院は、規定は議論の俎上にも上がっていません。海賊対処法や、北朝鮮問題で国民の危機意識を培養するためあらゆる宣伝がされる中、国民投票法は明らかに憲法9条を改定して自衛隊を軍隊に

し、集団的自衛権の名のもと、戦争する国づくりへと道を開くものです。

憲法審査会の入口でこそずり、施行に向けて順風といえないのも実情です。

しかし予断は出来ません。9条を守れる国民世論は70%近くになっています。

楽観もせず、かつ悲観もせず世論と運動で、国民投票法を機能不全に追い込もうではありませんか。私たちの運動はそのことを可能にしています。

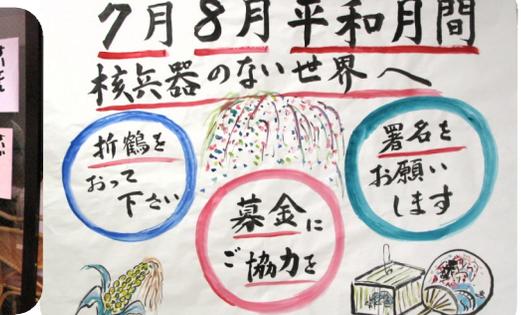
署名・募金を訴える 代表団の関川先生



みんなの思いを代表の飯島さんに託して



人気のすいとん・果物・飲物・手作りパン



診療所待合室の呼びかけポスター



たくさんの方がバザーの品物を寄附

今年4月のオバマ大統領のプラハ宣言で、世界は「核兵器のない世界」へと一歩踏み出しています。その歴史的な年、原水爆禁止世界大会・長崎に職員8人が代表団として参加。代表団を派遣するため職員はカレー販売、友の会は平和バザー、診療所では待合室で折鶴のご協力、署名や募金活動など一緒に頑張りました。

## 私の被爆体験

中野区原爆被害者の会 会長 渡部 昭彦 (長広会)



8月6日広島は快晴 警戒警報となり、私たちは予定通りの作業を継続していた。私は中学3年生(15歳)。学徒動員で金剛砥石製造所の現場に出ている。ピカッ！閃光が走った瞬間、工場が倒壊し、私たちはその下敷きになった。

ひと時経って、気がついたが真っ暗闇で何も見えず、身動きも出来ない。微かな明かりを頼りに這い出てようやく屋根の上に出られた。近くで火災が発生しており早く避難しなければと思いつつも、私たちが逃げた。私たちが逃げた。私たちが逃げた。

## 映画「怒りの葡萄」34人が鑑賞

7月23日 (木) 共立診療所の4階で平和映画鑑賞会を行いました。



### 新事務長になりました よろしくお願ひします



共立診療所  
事務長  
松本 明彦

6月21日、中野共立診療所から事務長になりました。1995年に職し、中野共立病院医事課、中野共立診療所医事課、医学士担当などを経験してきました。中野共立病院建設中は、代々木病院外来医事課で3年間勉強させていただきました。

1997年6月2日、中野共立診療所オープンの日を今でもはつきり覚えております。新築で綺麗な明るい雰囲気、待合室も広い中野共立診療所に、地域のみなさんは非常に喜んでくださいました。それまでの準備の苦労が吹き飛ばすほど、職員として非常に嬉しいことでした。

今回、約11年振りに中野共立診療所に戻ってきました。その間に様々な医療改善が行われた影響もあるでしょうが、残念なことに当時に比べて外来患者さんが減ってきています。地域のみなさんから、「ここに来て良かった」「友人や家族に紹介したい」と思ってもらえるような診療所づくり、事務長として取組んでいきます。これからよろしくお願ひします。

この間、多くのパワーをいただき、ありがとうございました。友の会のみなさまとの楽しい思い出を持って、杉並でも地域に根ざした診療所を目指して頑張ります。今後、よろしくお願い致します。

ななおが教室は続けますので是非、ご参加下さい。  
(第3火曜日午後5時30分)

お世話になりました  
桃井診療所事務長  
小西 理枝

共立診療所の事務  
長となり三年。「健康まつり」など、地域との交流を深め患者様の要求に応えられる診療所に少し近づけたと思つていたところ異動となりました。

生まれつき虚弱体質で体力には自信がなかつた。もともと文科系で子どもの頃はよく読書をした。高校時代には哲学に興味を持ち、大学は文学部にすんだ。

以前より精神医学に興味があつたので、一年発起して医学部を目指し自宅浪人した。1年後、故郷が静岡県のため浜松にある医大を受験し、医学部に入学した。

夏休み病院実習に誘われ、愛知民医連の病院で実習を行なった。当時は地域の医療機関で働こうか、大学に残って研究しようか迷つていたが、実習に参加して、民医連の病院が地域医療のために頑張っているのを目の当たりにし、これこそ自分がやりたかつたことだと感じ、静岡民医連の奨学生になった。

そしていま、中野と川崎の病院で内科医として働いている。教員生活に挫折したこと、両親を癌で亡くしたことは、私の人生観、社会観に示唆を与えている。教員生活に挫折したこと、両親を癌で亡くしたことは、私の人生観、社会観に示唆を与えている。

## 余はいかにして 医師となりしか

内科医師 山田 洋之  
(中野共立診療所)



医学部はなんとか卒業できて、待望の医師免許を手にした。医師研修は最初静岡民医連で、その後神奈川の川崎協同病院で初期研修を行なった。静岡に戻りしばらく働いた後、中期研修は愛知民医連で消化器内科の研修を行なった。僻地医療にも興味を持ち北海道の松前という小さな田舎町の病院でしばらく働いたが、現地の寒さに耐えられず2年弱で本州に戻つた。

### 36人の大切さ痛感 「多喜二」逗留の宿へ



共立友の会  
事務局 関 雅之

プロレタリア作家小林多喜二が、1933年2月20日、特高警察に虐殺される2年ほど前、1ヶ月をかけて小説「オルグ」を書いたところです。

当時の様子や多喜二の思いがわかるようにと、作品に精通する小川京子さんが資料を準備。バスの中で学習しました。

現地では多喜二

逗留の歴史的事実を突き止めた研究者の蠣崎澄子さんが「9年前、多喜二の動向が明らかになっていない部分が気になり、七沢温泉を調査。3軒目でこの福元館に

電話。女将さんが小さな声で多喜二さんがいましたとの返事に胸がいっぱいに話されました。

女将の古根村喜代子さんは「みなさんが来てくださるのも多喜二さんをおもてなしの義父のおかげ。このことは誰にも絶対にしゃべっちゃいけないと言われていて、蠣崎さんから電話が

来たときも迷いました」と伝え聞いていた70年以上前の緊迫した様子をリアルに語りました。参加者は治安維持法の恐ろしさを知り、平和、自由の大切さを強く感じました。そして多喜二がお風呂でいつも歌っていたブラームスの「日曜日」を武智美鈴さんに習ってみんなで歌いました。

6月22日から共立友の会の新事務局員になりました。今後ともよろしくお願ひいたします。

今回、初めて「平和を願う旅」で楽しく一緒に遊ばせていただきました。

7月16日、日差しが強く照りつける中、36人で神奈川県七沢温泉・福元館に行つて来ました。ここは

多喜二のいた部屋を見学

共同組織活動交流集会以報告  
6月21~22日 長崎



オープニングは現地の人達による「龍踊り」からでした。参加者は過去最高の1560人。2日目の分科会で私は「健康づくり」に参加し、「玉川上水を歩いて」を報告しました。四季折々の季節を感じながらウォーキングを楽しめる大変良いコースだと助言者の先生や参加者からも発言がありました。(諏佐洋子)

### 耳で聞く小説

朗読サークルを開いて2年になりました。この度、明治・大正文学の中より最も親しみの持てる夏目漱石の「坊ちゃん」からテープに入れてみました。その他、森鷗外、樋口大祐とサークルみんなでテープ図書としていろいろ入れ始めましたので、ご退屈しのぎに是非、ご照覧下さいませ。友の会の一隅に置いてございます。(朗読サークル 武藤芳子)